

は施設百十八ヶ所、広場六十ヶ所がある。

いざという時に使えるように整備周知徹底していききたい。

質問 子どもの安全対策について、さまざまな対策を講じているにもかかわらず犯罪が増えている。

日ごろの学校、家庭、地域の心を使った連携が必要な時と考えられるかどうか。

市長 子供の安全対策については、関係者の方々と検討していきたい。

公用車のパトロールについても考えていきたい。

教員 通学マップについては車の通らない所から、車が通る所に見直しをしている。

防犯教室については、いけない、乗らない、大声を出す、すぐに逃げる、知らせる、頭文字を取って、いかのおすしとして子供達に伝え指導している。

質問 学校図書館の整備率はどのようになっているのか。

市長 小学校八十五・二%（但し、平成十六年度）中学校六十・二%である。今後も整備向上に努力します。

仙北市の規模に見合った職員数と「余力」の活用について

武藤 耕三 議員



質問 市長は、当選した昨年十一月一日、新聞社のインタビューに新市の職員数について現状では余力があるの

で、その活用の必要性を訴えているが、活用をどのような形で実行されているのか、お聞きしたい。

市長 合併して市の規模に合った職員数、その人件費の削減が合併した目的の一つとして大きなウエートを縮めている。その事からも最終的に必要組織、人数、その中で結果として生まれてくる余力の活用を話してきました。現在行政改革のプロジェクトチームが作業、見当しております。

現在公営企業を除いて六百六十人の職員で、分庁舎方式は一ヶ所に集中した庁舎よりは当然ながら職員数が多い形態であり、できるだけスリム体

質の中で制限ができるようにして行きたい。

平成十八年度の人事異動についても減らさずばかりでなく国体関連が近付いてくる年度においては、人数的に必要な部所もありプラスマイナスが生じてくるが、その時期だけ必要な部所への配置、又余力があるからこそできる事業、この余力活用していきたい。

指定管理者制度と地域経済について

質問 雇用情勢が以前と厳しい状況、回復の動きが見られない、公共事業の依存度が高い、この制度の活用が地域経済の活性化に直結するものと思うが、お聞きしたい。

市長 今、定例会に指定管理者制度の適用関係条例を十六議案を上げしており、可決されれば、ほかの三四施設も制度の適用が可能となり、その内三十三施設を管理している団体と協議を進めているが、期間は二年七ヶ月とする予定で、二十一年からは

公募も含めて検討する。高齢者の心を支える行政について 高齢者への支援策を模索し実行していることは理解出来るが、心の支援策が希薄なため、余命への不安等があると推測されるが、対策についてお聞きしたい。

市長 福祉その他色々の面から支援をしておりますが、その対策としてスポーツ、趣味、又特にボランティア活動を集団で取り組んでいただき、独りでとじこもりになり、相談相手がない、そのような状態にならないようにいろいろな場面、外部の団体等に参加できるように市としても、又社会福祉協議会で行っている、カタルベ会など、各



駒ヶ岳をバックに完成したふれあい温泉館

地区のレクリエーションなどに参加できるように呼びかけ、高齢者方の不安等が起らないような対策を市として行ってゆきたい。

続発する公務員の不祥事 自浄作用の発揮を

熊谷 佳穹 議員



質問 地域センターは住民サービスが窓口として住民と市政を結ぶ必要不可欠な部署である。にも拘わらず同センターには何らの権限も無